

フィーカ ハーモニカケトル 取扱説明書

Cookvessel®

- ◇この商品は、ご家庭で湯沸かしのためにご使用いただくものです。
- ◇この取扱説明書をよくお読みの上ご使用ください。(読んだあとは大切に保管してください。)
- ◇この商品は右記の加熱器具でご使用いただけます。

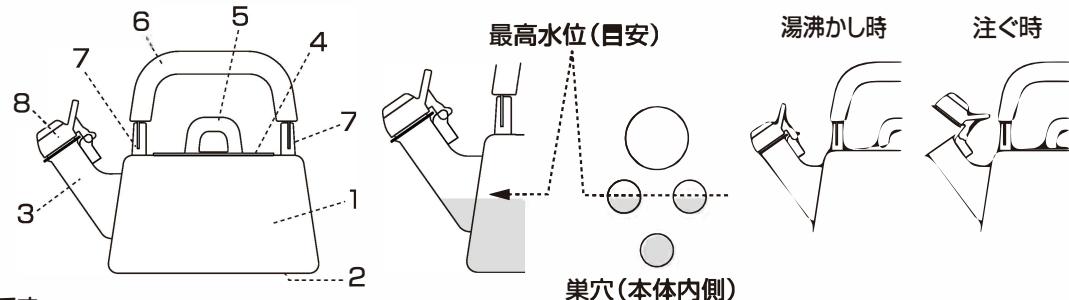


お使いいただく前に

- 初めて使用する前に、ハンドルやツマミにぐらつきやひび割れなどの不具合がないことをご確認ください。
- 本体に貼付されたシール・下げ札・ラベルなどをはずしてください。
※フタに貼付の「ストーブ禁止」ラベル(右図参照)は、はがさずにご使用ください。
- 初めて使用するときは内部をよく洗ってください。
*食器用中性洗剤とスポンジで洗い、十分にすすいでください。
- 初めて沸かした湯は捨ててください。
- 品質管理には万全の注意を払っておりますが万一製品に不具合があった場合は、ご使用前に購入店または、お問い合わせ先にご連絡ください。

各部のなまえ

- 1.本体 2.底
- 3.注ぎ口 4.フタ/パッキン
- 5.ツマミ 6.ハンドル
- 7.ハンドル取り付け部
- 8.笛部
(イラストと製品とは異なる場合がありますが、ご了承ください。)



*笛およびフタのパッキンは交換可能です。

*空だきなどにより笛部に不具合が生じた場合に有償にて修理を承ります。

笛吹きケトルについて

- この笛吹きケトルは沸とう時の蒸気圧で笛を鳴らすために、フタの開閉をきつめに設定しております。
- 笛部とフタを確実に閉めてご使用ください。
*湯を沸かす前に笛部分を2~3回パタパタと開閉して、笛部の水をよく切り、フタを確実に閉めてご使用ください。
*極端に弱い火力では笛が鳴らない場合があります。
*水量が多いと笛鳴り不良の原因になります。
*上記の操作をしても笛が鳴らない場合は購入店やお問い合わせ先にご連絡ください。
- フタを無理な力で閉めないでください。
*パッキンが破損する原因になります。フタが閉めにくい場合はパッキンを水にぬらすと閉めやすくなります。
- 湯沸かし中に水蒸気の結露により笛部から水滴がたれることがあります。

△注意 安全にお使いいただくために

- 湯沸かし以外の目的に使用しないでください。
*火がなどの原因になります。
- 熱湯と蒸気にご注意ください。
*やけどの原因になります。
- 乳幼児の手の届くところには置かないでください。また、いたずらには十分に注意してください。
*やけどの原因になります。
- 湯を沸かすときはハンドルを立ててご使用ください。
*倒して使用するとやけどやハンドルの故障の原因になります。
- フタをはずした状態で使用しないでください。
*ハンドルの過熱によりやけどの原因になります。湯沸かしの際は必ずフタを閉めてご使用ください。
- 水量と火力を調整してご使用ください。
*水量が多いと熱湯のふき出しによるやけどやガスの火を消す原因になります。
*中火以下でご使用ください。
*火力が強いと沸とうの際に湯がふきこぼれてやけどの原因になります。(火力によっては最高水位以下であってもふきこぼれる場合があります。)また、過剰な蒸気圧によりフタが開く場合がありますのでご注意ください。
*コンロの中央に置いて炎が底面からはみ出さない程度に火力を調整してください。炎が底面からはみ出したままで使用すると、ハンドルの過熱によりやけどや故障の原因になります。
*2口以上のコンロにてご使用の場合は隣接するコンロの炎があたらないようにしてください。やけどやハンドルの故障の原因になります。
- 万一のふきこぼれに備えて、注ぎ口の向きにご注意ください。
*人の方に向けないでください。やけどの原因になります。
*天ぷら鍋などの高温の油の方に向けないでください。熱湯のふき出しにより油に引火し、やけどや火災の原因になります。
- 笛部は熱くなっていますので開閉の際は蒸気と水滴(熱湯)の飛散にご注意ください。
*やけどの原因になります。
- 笛部やフタの隙間などから発生する蒸気にご注意ください。
*やけどの原因になります。
- 注ぐときにフタが落ちないようご注意ください。
*やけどの原因になります。



■室温や火力などの使用条件により、ハンドルやツマミが熱くなる場合があります。特に湯沸かし直後はご注意ください。

*やけどの原因になります。

■湯を注ぐときは熱湯の飛散にご注意ください。

*やけどの原因になります。

■湯沸かし直後に湯を注ぐと、過熱した注ぎ口で湯が再沸とうし、熱湯が飛散する場合がありますのでご注意ください。

*やけどの原因になります。

*火を止めた直後は危険です。火を止めて数十秒程度待った後、ゆっくりと注いでください。

■湯をポットなどにあけた直後や熱湯が残っているときなど本体が熱いときに、フタの開閉はしないでください。

*蒸気によるやけどの原因になります。

■空だきをしないでください。

*火災やハンドルの故障、本体の変形などの原因になります。

*空だきした場合に水などをかけて急冷しないでください。やけどの原因になります。

*湯が沸いたら必ず火を止めてください。

■水漏れした場合は使用しないでください。

*ガスの火を消す原因になります。

■改造・分解・修理はしないでください。

*ハンドルなどのぐらつきに対して応急処置などをしないでください。故障・事故の原因になります。

*樹脂製ツマミに限り、ゆるんだら締め直してください。

■ストーブの上では使用しないでください。

*本体の転倒、湯のふき出し、空だき、異常過熱、また、まれに熱湯が突然ふき出す突沸現象によりやけどの原因になります。

■電子レンジやオーブンレンジで使用しないでください。

*やけどの原因になります。

クッキングヒーターをご使用のときは

■空だきは絶対にしないでください。

*空だきは高温になるため、ホーローが器具に溶着し破損の原因になります。

■ホーローの急激な温度上昇を避けるため、火力を中レベル以下からスタートしてください。

■効率よく加熱するために、底についた水分をきれいに拭き取ってください。

■ヒーターの中央部に置いてご使用ください。

■空だきや落下などにより、底の変形やガタツキなどの異常が生じた場合は、使用しないでください。

■ご使用のクッキングヒーターの取扱説明書の指示に従い正しくご使用ください。

*やけどの原因になります。

ホーローについて

■ホーローはガラス質です。ぶつけたり落したり衝撃を与えないようご注意ください。

■沸とうしたら、必ず火を止めてください。

■水をつぎたしながら長時間お湯を沸かし続けないでください。

*水道水中の微量成分が、白い粉状となりケトル内面に付着し、ホーロー表面を侵食することがあります。

■本体内側(紺色)はさびの発生を防止するため、耐久性の高い耐熱性水釉仕上げをしていますが、さびが発生する場合があります。

ご使用上は問題ありませんが、防止するために使用後は水分を取り、十分乾燥させてください。

*さびが発生しやすい箇所

●釉薬がかかりきらないところ(注ぎ口先端部、注ぎ口取り付け部の巣穴回り、フタ開口部、ハンドル取付け部など)

●表面がかけているところ(衝撃、落下、熱ひずみなどによる)

●表面がひび割れしているところ(注ぎ口取り付け部、ハンドル取り付け部などの接合部付近、熱ひずみによる)

*さびは通常の使用でも発生することがあります。少量の湯沸かしや強火・急冷・湿った状態で保管などにより発生しやすくなります。

お手入れについて

■金属タワシ、研磨剤などの使用は表面を傷つけますのでおやめください。ご使用後はスポンジに中性洗剤をつけてよく洗い、乾燥させてください。

■さびの発生を避けるため

*水の長期保存をしないでください。

*ぬれた状態や湿った場所で保管をしないでください。

■フタのまわりや内面に白い粉状の水アカが付着することがあります。これは水中の鉱物で無害ですが、こびりつくと落ちにくくなります。こまめにお手入れしてください。

■内面の水アカの落とし方

1.水1リットルに対して、クエン酸25gを加え、煮沸してください。

2.火を止めた後、1~2時間放置してください。

3.中性洗剤とスポンジで洗い、よくすすいでください。

(厚くこびりついた水アカは落とすのが困難な場合があります。)

■食器洗浄機・食器乾燥機では使用しないでください。

■塩素系漂白剤を使用しないでください。



熱湯の飛び散り注意!

お問い合わせ先

サーモスお客様相談室



0570-066966

※一般電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

ナビダイヤルがご利用いただけない場合はこちらへ 0256-92-6696 〒959-0215 新潟県燕市吉田下中野1435番地

受付時間：9:00～17:00 月曜日～金曜日(祝日・弊社休業日を除く)

サーモス株式会社 お客様相談室